

うるま市のごみ処理経費・ごみ搬入量・資源化量等について

中部北環境施設組合に搬入された令和2年度のごみ量は、前年度と比較して増加しております。市民一人当たりのごみ処理に係る経費が多額でありますので、うるま市が推進する4R(リフューズ・リデュース・リユース・リサイクル)、ごみ分別の取り組みを徹底し、ごみの減量化にご協力ください。

1. 令和2年度ごみ処理経費

経費区分	金額	市民1人当たり年間負担金額	1世帯当たり年間負担額
ごみ収集運搬等諸経費	2億5,460万円	2,031円	4,669円
負担金	ごみ処理経費	11億2,372万円	8,964円
	最終処分費	2,797万円	223円
ごみ処理総事業費	14億629万円 (12億8,627万円)	11,218円 (10,328円)	25,790円 (24,028円)

* ()内の数値は令和元年度実績です。



2. ごみ搬入量

ごみの種類	令和元年度	令和2年度	前年度比較	市民1人当たり1日の排出量	1世帯当たり1日の排出量	
可燃ごみ	33,731ト	34,613ト	882ト	756.5g	1,739.1g	
不燃ごみ	899ト	1,089ト	190ト	23.8g	54.7g	
粗大ごみ	717ト	898ト	181ト	19.6g	45.1g	
負担金	缶類	378ト	417ト	39ト	9.1g	21.0g
	びん類	886ト	933ト	47ト	20.4g	46.9g
	ペットボトル	389ト	417ト	28ト	9.1g	21.0g
	古紙類	607ト	942ト	335ト	20.6g	47.3g
合計	37,607ト	39,309ト	1,702ト	859.1g	1,975.1g	

3. 資源化量

ごみの種類	令和元年度	令和2年度	前年度比較
缶類	311ト	341ト	30ト
金属類	447ト	576ト	129ト
びん類	845ト	881ト	36ト
ペットボトル	350ト	366ト	16ト
古紙類	455ト	741ト	286ト
蛍光管	20ト	19ト	-1ト
乾電池	33ト	34ト	1ト
スラグ	2,388ト	2,334ト	-54ト
メタル	23ト	29ト	6ト
合計	4,872ト	5,321ト	449ト

* 令和3年1月末の人口125,362人、世帯数54,528世帯、令和2年1月末の人口124,544人、世帯数53,533世帯です。

* 端数処理をしている為、数値が一致しない場合があります。

* 資源化量の金属類は、不燃ごみ・粗大ごみから破碎・分別して出てきたものです。

* 資源ごみ搬入量と、資源化量の数値の違いは、手選別作業による異物除去のためです。

* 負担金とは、ごみ処理事業を行う為に必要な経費をうるま市から中部北環境施設組合にあててごみ処理経費です。

4. 最終処分量

種類	令和元年度	令和2年度	前年度比較
飛灰	1,090ト	1,119ト	29ト

ごみを減らす4R運動を実践しよう。

ごみを減らすためには、一人ひとりがごみを減らす意識を持つことが大切です。そこでごみを減らす4つのRを心がけて、環境にやさしく、大切な資源として活かす取り組みを始め、ごみ減量へのご協力をお願いします。

① リフューズのR → ごみを持ち込まない。	○ 不要な物は買わない、貰わない。 ○ ごみになる物は断る。 ○ マイバックを持参しよう。
② リデュースのR → ごみを減らす。	○ 必要なものを必要な量だけ購入する。 ○ 食品を買わずに作りすぎない、食べ残さない。 ○ 生ごみは十分な水切りをする。(生ごみの約8割は水分)
③ リユースのR → 再使用する。	○ 使えるよう修理してみる。 ○ 別の使い方を考える。 ○ 欲しい人にゆずる。
④ リサイクルのR → 再利用する。	○ 資源を正しく分別する。 ○ 買ったお店で回収ボックスを利用する。 ○ 生ごみを堆肥にする。

お問い合わせ：中部北環境施設組合 ☎972-6619



うるま市にポケモンあらわる! マンホール「ポケふた」お披露目式



6月22日、株式会社ポケモンより、コロナで落ち込んだ沖縄を盛り上げる「そらとぶピカチュウプロジェクト」の一環として、世界遺産の《勝連城跡》と闘牛のまちにちなんで「あばれうしポケモン ケンタロス」がデザインされたマンホール「ポケふた」がうるま市に贈られました。

お披露目式には、人気キャラクターピカチュウと、市の観光大使であるHYの皆さんも駆け付けて式典を盛り上げてくれました。

6月28日より、石川多目的ドーム(闘牛場)の隣にある石川運動広場に設置しています。

7/7 的確な応急手当で命を救う! 救命を行った3人に感謝状



うるま市消防本部は、2月24日に市内の飲食店において心肺停止で意識を失った男性に的確な応急手当(心肺蘇生)を行い救急隊に引き継いだ3名に対し、感謝状を贈呈しました。心肺蘇生を行った桃原忠男さん(右)、処置スペースの確保を行った桃原正喜さん(中央)と池上昇さん(左)の勇気ある行動により、尊い人命が救われました。

7/1 うるま市監査委員に 豊濱光則氏



7月1日、うるま市監査委員の辞令交付式が行われ、中村市長より豊濱光則氏(左から2人目)へ辞令が交付されました。本市の効率的な財政運営を確保するため、事務執行、決算、財産管理等のチェックを行います。任期は、令和3年7月1日から令和7年6月30日まで。

6/28 前原高校 女子剣道部 九州大会へ 県高校総体準優勝報告



5月30日に開催された沖縄県高等学校総合体育大会剣道競技(女子団体戦)において、前原高等学校女子剣道部が46年ぶりに決勝進出を果たし、準優勝という優秀な成績を収めました。この大会の結果、7月5日に行われた九州大会(大分県)へ派遣されました。

6/30 市の文化財保護に貢献 沖縄地区史跡整備市町村協議会表彰



文化財保護審議会委員として合併前の2市2町そして合併後のうるま市において、文化財保護と啓蒙に多大なる貢献をされた座間味政光氏(中央右)、名嘉山兼宏氏(中央左)に対し沖縄地区史跡整備協議会会長である中村市長より、功労者表彰が行われました。